

サイドバイサイド



【みんなですすめよう男女共同参画】

「ひとりひとりが幸せな社会のために」

男女共同参画社会の実現をめざして

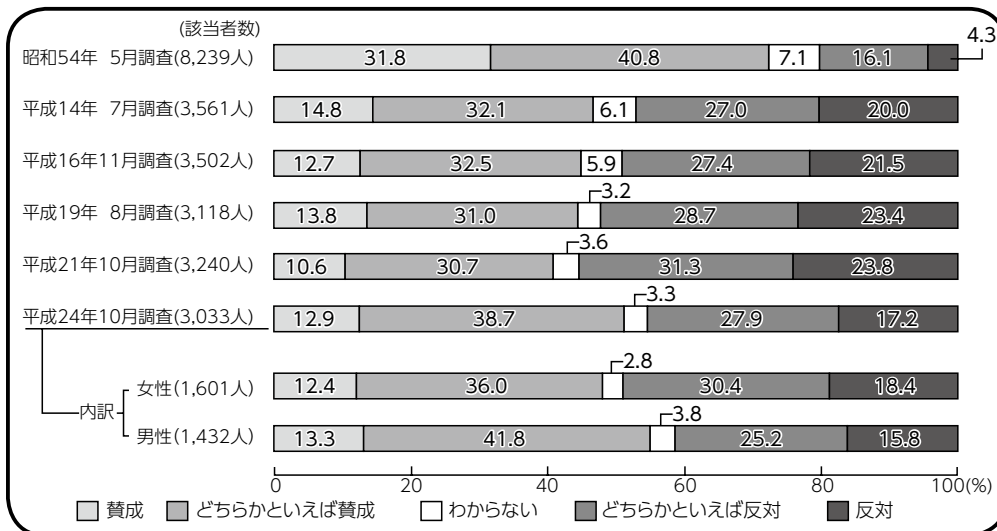
「男女共同参画に関する意識」

性別を理由として役割を固定的に考えるのではなく、一人ひとりに個性や能力、その人らしさがあります。仕事や家事、育児など広い分野で男性と女性が協力しあうこと。皆さんはどう思いますか？

固定的性別役割分担意識＜夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである＞

昭和54年調査では賛成の割合が7割を超えていましたが、平成16年調査で初めて反対(「反対」+「どちらかといえば反対」)が賛成を上回り、19年調査では反対が5割を超えました。

男性は平成21年調査で初めて反対が賛成を上回りましたが、平成24年度調査では再び賛成が反対を上回っています。



内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成24年10月)より作成

人権 それは 愛

問合せ／教育文化振興課 ☎ 990-9011
企画財政課 ☎ 991-1815

過ちを繰り返さないために～災害時の思いやり～

皆さんは知っているでしょうか。関東大震災から90年が過ぎていたことを。

90年前の震災では、人々の思い込みや偏見による民族差別、職業差別、よそ者差別などから様々な差別事件が発生し、外国人などに対する虐殺があったと当時の新聞に記されています。

また、阪神・淡路大震災、新潟県中越沖地震、東日本大震災など大きな災害が起こるたびに、避難所での高齢者、障がいのある人など「災害時要援護者」や女性への配慮不足が問題となりました。さらに根拠のない思い込みや偏見から農水産物等への風評被害や、避難者がホテルでの宿泊を拒否されたり、小学生が避難先の学校でいじめられたりする人権侵害も発生しています。

人はなぜ誤った認識や偏見により人を傷つけてしまうのでしょうか。また、災害時にはどのようなことに心を配ればよいのでしょうか。

私たちは同じ過ちを繰り返さないために歴史から学び、災害時には平常時以上にまわりの人を思いやり、行動することが求められます。

そのためにも、普段から様々な人権問題について関心を持ち認識を深めておくことが必要なのです。

